

2019年度 第2回10月北大本番レベル模試地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

**2 論述問題**

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

**5 設問別加点基準**

- 1) \_\_\_\_\_部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

**1**

問1 1点×3

a : 面積      b : 対蹠点      c : 標準時子午線

問2 2点×2

ロンドン : 11月20日15時 (午後3時)

サンフランシスコ : 11月20日7時 (午前7時)

問3 4点

統計を記入したベースマップが、面積が正しくないメルカトル図法であることが問題点であり、モルワイデ図法などの正積図を用いて修正すればよい。

**【加点ポイント】**

- ① (ベースマップが) メルカトル図法である／メルカトル図法で作成している →1点
- ② (①の問題点として) 面積が正しくない／正積でない →2点
- ③ (修正方法として) 正積図を用いる／モルワイデ図法などを用いる →1点

問4 1点×8

アメリカ合衆国      首都 : ワシントン D.C.      記号 : B

(※「D.C.」無しは不可    ピリオドの有無は問わない)

中国      首都 : ペキン (北京)      記号 : D

ブラジル      首都 : ブラジリア      記号 : A

ロシア      首都 : モスクワ      記号 : C

問5 2点 C

問6 6点

海岸段丘面上に集落と畑があり、段丘崖には広葉樹林が広がり、段丘面を刻む低地には水田が見られる。

【加点ポイント】

- ① (見られる地形名として) 海岸段丘 →2点
- ② (土地利用として) 「段丘面」に「畑/田畑」→2点  
※ (「段丘面に水田」のみ →1点)
- ③ (土地利用として) 「段丘崖」に「広葉樹林/広葉樹」→2点

問7 2点 ハ) ※ 「 )」の有無は問わない (以下同様)

問8 6点

低地に温室等の地図記号が見られるので施設園芸農業が行われている。1970年代からの水田の減反政策と道路網の整備によって、名古屋大都市圏を市場とした輸送園芸が行われるようになった。

【加点ポイント】

- ① (見られる地図記号として) 温室/ビニールハウス/無壁舎/建物類似の構造物 →2点
- ② (農業的土地利用として) 施設園芸/園芸農業/近郊農業/輸送園芸/遠郊農業  
/野菜の栽培/野菜の促成栽培/花卉の栽培/ハウス栽培 →2点
- ③ (②の背景として) ・減反政策  
・道路網の整備/高速道路が通った  
・大都市圏に近い/大市場に近い } 1つ1点  
2点まで

2

問1 2点 ホ)

問2 2点×3

①:エルサレム ②:ラサ ③:シク教/シーク教

問3 1点×5

A:イラン B:インドネシア C:アラブ首長国連邦 D:タイ E:フィリピン

問4 2点 バリ島

問5 9点

【指定語句】 4つ WASP スペイン語 綿花地帯 サラダボウル (下線不要)  
白人のアングロサクソンでプロテスタントを信仰するWASPが多数派である。WASPの次に多いのが、スペイン語が母語のヒスパニックで、メキシコとの国境付近に多い。綿花地帯はアフリカ系が多く、かつての奴隷の子孫である。これらの民族は融合せず互いの文化を尊重しあいながら共生しており、サラダボウルに例えられる。

【加点ポイント】

- ① WASPが多数派である/WASPが最も多い →1点
- ② (WASPの説明として)「白人」の「アングロサクソン」で「プロテスタント」→1点  
(※「3つ」揃って1点)
- ③ ヒスパニックが多い →1点
- ④ (ヒスパニックの特徴として) →スペイン語を母語とする/スペイン語を話す →1点
- ⑤ (ヒスパニックの分布域として) メキシコ国境付近 →1点
- ⑥ アフリカ系/黒人 が多い →1点
- ⑦ (アフリカ系/黒人の分布域として) 綿花地帯 →1点
- ⑧ (⑦の背景として) かつての奴隷の子孫/奴隷貿易で連れてこられた黒人の子孫 →1点
- ⑨ 「民族は融合せず  
/互いを尊重し共生して  
/混血せず独立を保ち  
/民族の文化的特徴を失わず」 } + 「サラダボウルに例えられる」 →1点

問6 6点

多数派であるが経済的地位の低いマレー系の先住民を雇用や進学で優先し、富裕層を形成する中国系やインド系との所得格差の解消を目指す政策である。

【加点ポイント】

- ① (マレーシアの民族分布として) マレー系が多数派である  
／先住民はマレー系である →1点
- ② (①は) 経済的地位が低い／所得水準が低い →1点
- ③ (他の民族として) 中国系／インド系 →1点
- ④ (③は) 経済的地位が高い／富裕層である →1点
- ⑤ (政策の内容として) マレー系を優遇する  
／マレー系を雇用 (進学) などで優先する →2点

問7 2点×5

a : ケベック    b : チェチェン    c : クルド    d : ロヒンギャ    e : カシミール

(※「州」「人」「地方」の重複は △1点)

3

問1 2点×2 (a): 因子 (b): 輸入代替

問2 4点

セメント工業は、主原料の石灰石産地が局所的であり、製品が原料より軽くなるため、生産費に占める原料輸送費の割合が大きい。よってその立地は原料産地指向型となる。産地と直結した近隣港湾への立地も多い。しかし、大量輸送機関の発達、焼成燃料の重油転換などにより、需要の高い大都市周辺の臨海部に立地する例も増えた。

【加点ポイント】

- ① (主原料として) 石灰石/石灰岩 →1点
- ② (立地について) 原料産地指向型である/原料産地近くに立地する →1点
- ③ (②の理由として) 製品が原料より軽くなる/重量減損原料である/重量減損が大きい →1点
- ④ (立地の変容として) 大都市周辺/臨海部 の立地も増えた →1点

問3 記号 3点 ハ) 州名 3点 ニューヨーク州/ニューヨーク

問4 4点

完成品ではなく、部品や半製品を輸出し、輸出先の現地工場で組み立てて製品を生産すること。企業側は関税を低く抑え、現地の安価な労働力を利用できる。相手国は工業化の進展と雇用増が期待できる。

【加点ポイント】

- ① 部品(半製品)を輸出し、輸出先で製品を生産する(完成させる/組み立てる) →2点
- ② (目的として) 安価な労働力を利用/労働費などのコストを削減する →1点
- ③ (相手国のメリットとして) 工業化の推進/雇用増大 →1点

問5 記号 2点 ハ)

国名 3点 フィリピン

問6 説明 4点

製造した製品を輸出することを条件に、関税などの免除や優遇によって、外国資本の誘致を促進する目的で設定した地域。

【加点ポイント】

- ① (目的として) 外国資本の誘致/外国企業の誘致 →2点
- ② (内容として) 税制優遇を設けた地域/関税などの減免を認めた地域 →1点
- ③ (条件として) 製品の輸出 →1点

問6 名称 2点 マキラドーラ

問7 各3点 ハ): ロシア ニ): ブラジル

4

問1 2点 ピレネー山脈

問2 X 4点

エルベ川は、流域が安定陸塊や古期造山帯に属し、河川勾配は緩やかで土砂運搬量が少ないため沈降した河口部が埋没せず、ラップ状の入江となったエスチュアリーがみられる。

【加点ポイント】

- ① (河川名と地形名として)「エルベ川」と「エスチュアリー／三角江」 →1点
- ② (流域の大地形) 安定陸塊／古期造山帯 →1点
- ③ (②により) 土砂運搬量が少ない／河口部が土砂で埋没しない →1点
- ④ (成因として) 河口部が沈降(沈水)した →1点

問2 Y 4点

ポー川は、流域が新期造山帯に属し、上流にはアルプス山脈があり、河川勾配が急で大量の土砂が運搬されるため、これが堆積して河口部には三角州(またはデルタ)が形成されている。

【加点ポイント】

- ① (河川名と地形名として)「ポー川」と「三角州／デルタ」 →1点
- ② (流域の大地形) 新期造山帯 →1点
- ③ (②により) 土砂運搬量が多い →1点
- ④ (成因として) 河口(下流)部に土砂が堆積した →1点

問3 1点×9

A 気候区: 亜寒帯湿潤気候区／冷帯湿潤気候区 (「区」無しは可)

植生: 針葉樹林／針葉樹／タイガ

土壌: ポドゾル／ポドソル／ポトゾル／ポツソル／ポドゾル性土／ポドゾル土

B 気候区: 西岸海洋性気候区 (「区」無しは可)

植生: 落葉広葉樹林／落葉広葉樹／混合林／落葉広葉樹と針葉樹の混合林

土壌: 褐色森林土

C 気候区: 地中海性気候区 (「区」無しは可)

植生: 硬葉樹林／硬葉樹

土壌: テラロッサ (「テラローシャ」は不可)

問4(1) 2点×2 ③: ドイツ ④: フランス

問4(2) 3点

海岸砂丘地帯を中心に、野菜などを栽培する園芸農業が行われ、干拓地のポルダーでは牧草が栽培され酪農が行われている。

【加点ポイント】

- ① (野菜について) 園芸農業／近郊農業／輸送園芸／遠郊農業 が行われる →1点
- ② (牛乳・乳製品について) 酪農が行われる →1点
- ③ ②について) 干拓地／ポルダー で行われる →1点

問5 2点×3 イ：原子力 キ：水力 ク：火力

問5オ エネルギー名 2点：風力

問5オ 理由 2点

地形が平坦で、年中吹く偏西風を利用しやすいため。

【加点ポイント】

- ① (地形の特徴として) 平坦／山が無い／平野が広がる →1点
- ② (恒常風として) 偏西風が吹く →1点

問6 1点×4 (順不同)

ドイツ語、フランス語、イタリア語、レートロマン語 (ロマンシュ語)